



グリム童話は本当に童話なのか？
古代研究者グリム兄弟の実像にせまる！

© Copyright 2012 by Brüder Grimm-Museum / Kassel

グリム童話200年のあゆみ

— 日本とドイツの架け橋として —

〈開会の辞〉

〈来賓の挨拶〉

ホルガー・フィンケン
(ドイツ学術交流会東京事務所所長)

〈導入〉12:50~13:20

グリムへのいざない
大野寿子(東洋大学准教授)

〈司会・通訳〉

大野寿子(東洋大学准教授)
田中雅敏(東洋大学准教授)

〈基調講演1〉13:20~14:30

マールブルク？
「だがこの町自体はひどく醜い」
—グリム兄弟と故郷ヘッセンとの相反的関わり—
ハルム=ペア・ツィンマーマン
(チューリヒ大学教授)

〈基調講演2〉14:50~16:00

文字から図像へ
—19~20世紀における
『子どもと家庭のためのメルヒェン集』挿絵の歴史—
ベルンハルト・ラウアー
(グリム兄弟博物館館長)

〈シンポジウム〉16:30~18:30

『グリム童話』研究がつなぐ過去と未来
メルヒェンの世界観・伝説の世界観
—変身譚を中心に—
溝井裕一(関西大学准教授)

明治期における『グリム童話』の翻訳と受容
野口芳子(武庫川女子大学教授)

『グリム童話』と比較民話学
竹原威滋(奈良教育大学名誉教授)

〈閉会の辞〉

2012年10月20日(土) 12:30~18:30
〈受付開始〉11:30~ 〈開場〉12:00~ 〈開会〉12:30~

日本語
通訳付き

会場: 東洋大学白山キャンパス5号館「井上円了ホール」

住所: 文京区白山5-28-20 / アクセス: 都営地下鉄三田線白山駅下車徒歩5分、東京メトロ南北線本駒込駅下車徒歩5分
参加方法は東洋大学ホームページ(www.toyo.ac.jp)をご覧ください。

同時開催

グリム兄弟博物館(カッセル)収蔵品ミニ展示: 井上円了記念博物館(5号館) 9:30~17:00